

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	室内音響研究小委員会		主 査 名：羽入敏樹 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：久野 覚 主 査 名：田端 淳
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	室内音響全般に関する研究のトピックスを取り上げ、この分野の活性化を図るため、1) シンポジウムの企画・実施、2) 見学会・講演会の企画・実施、及び 3) 関連他分野との研究交流会を行うことを目的とする。 ・2009 年度：活動目的・方針の明確化 ・2010 年度： 建築家と音響技術者のコラボレーションのためのシンポジウム企画・準備 吸音に関する設計資料・データベース作成にむけた準備		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し 羽入敏樹(日本大学),池上雅之(大林組),上野佳奈子(明治大学),石渡智秋(永田音響設計),大久保洋幸(NHK),尾本章(九州大学),川井敬二(熊本大学),阪上公博(神戸大学),坂本慎一(東京大学),佐久間哲哉(東京大学),佐藤史明(千葉工業大学),清水寧(ヤマハ),田中亜美(日建設計),藤原舞(ヤマハ),船場ひさお(横浜国立大学),佐藤洋(産業技術総合研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)	1) 音響指標測定研究 WG: インパルス応答から得られる音響指標のベンチマーク作成を目指す。 2) スピーチプライバシー研究WG: 情報漏洩防止や個人情報保護といった時代的要求の高まりを受け、会話音声に関するプライバシー保護技術の確立を目指す。		
2010 年度予算	94,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 室内音響研究小委員会: 1-1. 室内音響設計事例集の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・室内音響設計事例集を作成する方針を決定した。2012 年度末完成を目指す。 ・各委員が事例を持ち寄り、事例集の構想について議論した。 1-2. シンポジウムの計画 <ul style="list-style-type: none"> ・建築家とのシンポジウム「音を巡る空間設計の可能性 —音楽ホールだけではない音響設計—」の 2011 年 5 月開催を決定。概要はほぼ決定し、詳細を企画中。 1-3. 勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・異分野、企業の方、ドクター取得学生などをお呼びし、意見交換、勉強会を実施することを決定した。 2. WG の活動成果 2-1. 音響指標測定研究 WG: (以下 10 年度分) <ul style="list-style-type: none"> ・音響指標ベンチマークを作成することを目標に、現在、その仕様を作成中。 ・仕様策定に必要な国際規格 ISO3382 の内容について検討中。 2-2. スピーチプライバシー研究WG: (以下 10 年度分) <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチプライバシーの現状調査は概ね完了した。 ・現在、各自の研究を進めつつ情報交換している段階である。 </p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>室内音響学を様々な空間に広く応用するために、建築家との意見交換などが必要である。</p>

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2010 年度 室内音響研究小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>1. 室内音響研究小委員会:</p> <p>1-1. 室内音響設計事例集の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内音響設計事例集を作成する方針を決定した。2012 年度末完成を目指す。 ・各委員が事例を持ち寄り、事例集の構想について議論した。 <p>1-2. シンポジウムの計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築家とのシンポジウム「音を巡る空間設計の可能性 —音楽ホールだけではない音響設計—」の 2011 年 5 月開催を決定。概要はほぼ決定し、詳細を企画中。 <p>1-3. 勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異分野、企業の方、ドクター取得学生などをお呼びし、意見交換、勉強会を実施することを決定した。 <p>2. WG の活動成果</p> <p>2-1. 音響指標測定研究 WG: (以下 10 年度分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音響指標ベンチマークを作成することを目標に、現在、その仕様を作成中。 ・仕様策定に必要な国際規格 ISO3382 の内容について検討中。 <p>2-2. スピーチプライバシー研究WG: (以下 10 年度分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチプライバシーの現状調査は概ね完了した。 ・現在、各自の研究を進めつつ情報交換している段階である。 			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。